



自立のはじまり…「いやいや期」

○「いやいや期」とは？

それまで良い子だった子どもが扱いにくくなって、急に手に負えなくなったと感じる時期、子どもの自己主張が激しくなる時期でもあります。

自我が芽生えて、自発性が育まれ、自尊感情や自立心(自律心)が育つのです。子どもの成長にとって大切な時期です。



○いやいや期の前半 … 1歳半ころから2歳半ころ

1歳半ころから始まり、2歳半ころに真っ盛りになります。

「なんでもやりたい」「自分でできる」と自分でやりたい気持ちが強くなりますが…一方では、まだまだ甘えたい気持ちが強く、実際の能力や技術が伴わないため、うまくできないことがほとんど。思うようにいかない「いやいや!」とだだをこね、かんしゃくを起こして手が付けられなくなり、周りを困らせます。



○おすすめの本

「子ども成長にとって大切な時期」、「子どもの気持ちを受け止めなきゃ…」

わかってはいても、イライラしてしまう「いやいや期」。そんなお父さん、お母さんに読んでほしい絵本を紹介します。

「いやだいやだの絵本」 せな けいこ 作・絵 福音館書店



①

②

③

④

4冊セットの「いやだいやだの絵本」は、あかちゃんの日々の生活を描いたユーモラスなお話を、温かみのある貼り絵の手法で描いた絵本で、言葉遊びのようにすぐに覚えてしまいます。

特に③の「いやだいやだ」は、何にでもすぐに「いやだ!」っていうルルちゃんが主人公のお話し。いやいや期真っ盛りの子どもたちも大好きです。